



「まあ、何となく…その力によつて、鳥の化け物が空を飛ぶんだ

「飛行機には揚力、重力、推力、抗力という4つの力が働いている。ここ迄は解るかな?」マグワートはそれぞれの力が働く方向に模型を動かしながら、2人を代わる代わるに見た。

「そうじゃのう。変化と聞くと不安定な感じがするから、変化こそが安定の土台だなんて聞いてもピンと来ないのも無理はない」しきりとマグワートは頷いたが、手に持ったままの飛行機の模型を目の高さ迄持ち上げ、更に言葉が続いた。

「でも…変化と安定って正反対の様に感じます」暫しの沈黙の後、マジョリアルが口を開いた。「変化」というもののその地球に於ける安定のフアンテーション???」更にウイザットが片眉を吊り上げながら言った。

「今という瞬間?」「そうじゃ。人生は今という瞬間の積み重ねじゃ。映画の瞬間瞬間のコマが積み重なり映像という一つの流れとなる様に、人生も瞬間の積み重ねにより展開していくんじゃ。一つとして同じコマはない。つまり、今という瞬間は変化していく。変化のコマが積み重なって人生模様が生

「正確に言えば、その4つのバランスによつて、じゃ」「ふうん」「この世に生きるワシら人間は、謂わばテイクオフした飛行機と同じなんじゃ。母親の胎内に肉体を持って宿った瞬間からワシらは細胞レベルで刻一刻と変化をしていく。生き続けていることイコールなんじゃよ。一旦肉体に生命が宿ったら、空中で停止出来ない飛行機と同様に、いつの日かランディングをす

るまで、変化という大空を飛び続けなければならぬ。時に悪天候の中、時にメカニカルトラブルの中…」マグワートはそこで一旦言葉を切り、一呼吸おいてから、再び言葉を続けた。「その際に一番重要なことはバランスじゃ。飛行機に働く4つの力を、人生に働く力に準えるなら、前に進む推力の方向が未来、後ろに働く抗力が過去、上方向の揚力が精神世界、そして重力が現実世界とも言える。つまり、人間は生きていく中で、その4つの力のバランスが取れている時、**「今」**という瞬間を安定して飛行している、即ち生きてい

る?」ウイザットが応える。「正確に言えば、その4つのバランスによつて、じゃ」「ふうん」「この世に生きるワシら人間は、謂わばテイクオフした飛行機と同じなんじゃ。母親の胎内に肉体を持って宿った瞬間からワシらは細胞レベルで刻一刻と変化をしていく。生き続けていることイコールなんじゃよ。一旦肉体に生命が宿ったら、空中で停止出来ない飛行機と同様に、いつの日かランディングをす

まれる。もしも変化することを怖れその場に留まるなら、それは安定ではなく停滞じゃ。飛行機なら失速してしまう」マグワートは飛行機の模型を床に向かって急降下させて見せた。

「今という瞬間は雷の稲妻の様に一瞬のことじゃ。瞬きした途端に**「今」**は**「過去」**になる。ワシらは未来に生きることも、過去に生きることも出来ない。常に**「今」**に生きるしかない。そして危うい4つの力のバランスというものが今という瞬間を支えている要因なんじゃ」「危うい4つの力のバランス?」「そうじゃ。人は未来にも過去にも生きられない上に、完全なるスピリットでもなく、完全なる物質でもない。肉体という物質とスピリットという霊的な波動双方を持つている。飛行機に働く力で喩えるなら、揚力がスピリット、重力が肉体。人間はその2つの中間的な存在であり、そのバランスを上手く保ち、**「今」**を飛び続ける宿命を背負つてこの地球に生まれて来る。余りにも現実的過ぎても、余りにもスピリチュアルばかりの追求でも、バランスは保たれない。お金やマテリアルだけに価値を見出すことも、精神世界に過剰に傾倒することも、どちらもアンバランスな生き方と言え。お金やマテリアルに感謝を持ちつつ、目に見えない世界のエッセンスも取り入れ、変化の流れの中で**「今」**という瞬間にコミットして生きることが真の安定、つまりバランスの取れた生き方、と言え。訳しや」

「今という瞬間は雷の稲妻の様に一瞬のことじゃ。瞬きした途端に**「今」**は**「過去」**になる。ワシらは未来に生きることも、過去に生きることも出来ない。常に**「今」**に生きるしかない。そして危うい4つの力のバランスというものが今という瞬間を支えている要因なんじゃ」「危うい4つの力のバランス?」「そうじゃ。人は未来にも過去にも生きられない上に、完全なるスピリットでもなく、完全なる物質でもない。肉体という物質とスピリットという霊的な波動双方を持つている。飛行機に働く力で喩えるなら、揚力がスピリット、重力が肉体。人間はその2つの中間的な存在であり、そのバランスを上手く保ち、**「今」**を飛び続ける宿命を背負つてこの地球に生まれて来る。余りにも現実的過ぎても、余りにもスピリチュアルばかりの追求でも、バランスは保たれない。お金やマテリアルだけに価値を見出すことも、精神世界に過剰に傾倒することも、どちらもアンバランスな生き方と言え。お金やマテリアルに感謝を持ちつつ、目に見えない世界のエッセンスも取り入れ、変化の流れの中で**「今」**という瞬間にコミットして生きることが真の安定、つまりバランスの取れた生き方、と言え。訳しや」

チャネリング相談

Q 親友に夫を奪われました。2人のことが許せません。魔女さんは、黒魔術はしてはいけないと言いますが、親友と夫のような人間の肩に対してしてもしてはいけないのでしょうか? 2人が幸せになるなんて絶対に許せません。一生呪ってやります。(東京都在住 Mさん)

A Mさんのお怒りはご尤です。ですが、どんな状況でもやはり黒魔術はいけません。どうしてかと言うと、それはMさんご自身の為です。黒魔術はそれを行った人にも9倍となって戻って来ると言われており、実際に人を呪ったりすると、闇のパワーと繋がることになり、経済的に窮地に陥る、健康を害する、家族とのトラブル等、ご自身に対しても災いが引き寄せられます。それは闇がネガティブ感情を餌として存在しているからです。

経済的窮地や病気、揉め事は人にネガティブ感情を引き起こさせる引き金となります。闇は黒魔術を行った人から出たネガティブ感情を更に増幅させ、それを餌とする為に、その人自身にも不幸を齎すのです。

2人のことが許せないのは解ります。無理に許すことはありません。ただ、2人を許せない自分が居るのだということは認めても、それ以上の闇の行動には出ることは避けたいほうがご自身の為には賢明です。

2人には今後宇宙が学びとしての課題を与えるでしょうから、そのまま彼らだけが幸せになるということはない筈です。ですので、Mさんが黒魔術をして彼らを制裁する必要はありません。*バチが当たるという意味ではないけれども、やったことに対してのツケを学びとしての課題で払わなければならない場面が出て来るという意味。

Mさんは2人の幸せを願わないまでも、不幸を願うことだけはしないで下さい。それはご自身の不幸を願うことと同じことですから。

注意: 魔女ともえが述べる内容はチャネリングによるひとつのサジェスチョンです。